

研究実施のお知らせ

2026 年 1 月 30 日 ver.1.0

研究課題名

島根大学医学部附属病院泌尿器科における前立腺肥大症に対するツリウムレーザーを用いた経尿道的前立腺核出術（ThuLEP）に関する後方視的検討

研究の対象となる方

当院において前立腺肥大症に対し 2020 年 1 月から 2023 年 12 月までの間に HoLEP を、2023 年 3 月から 2025 年 12 月までの間に、ThuLEP を受けられた方

研究の目的・意義

前立腺肥大症は前立腺の過形成により下部尿路の機能障害を来す疾患であり、解剖学的な前立腺腫大、機能的な尿路の閉塞、下部尿路症状を伴うものと定義されています。頻尿、尿性低下、残尿感などの症状を呈し、中高年の男性に多く、頻度や程度は加齢に伴い増加・増強するといわれています。

前立腺肥大症に対し、当院では従来ホルミウムレーザーを用いた経尿道的前立腺核出術（HoLEP）を施行してきましたが、ツリウムレーザーを用いた手術（ThuLEP）は 2015 年に本邦に導入され、当院でも 2023 年より導入しました。ツリウムレーザーは組織深達度が 0.2mm と浅く、切開術および蒸散術が可能であり、ホルミウムと異なり連続波モードによる照射が可能で、高い凝固能と切開能を併せ持つとされています。また、これまでの連続波に加え、パルス波を射出できる Pulsed ThuLEP は、ホルミウムレーザーに近い結石破碎や前立腺核出術が可能となりました。本研究は、ThuLEP 導入より 2 年が経過したため、これまでのデータを解析して ThuLEP の有効性や HoLEP と ThuLEP の比較を検討し、今後の診療に活用しうるものです。

研究の方法

カルテから、患者さんの背景、排尿状態、手術について（手術時間、合併症の有無、出血量など）、治療結果（排尿症状に関するスコア、ウロフロメトリー検査）などについて情報を収集します。これらの情報を解析して当院での ThuLEP の有効性、安全性を明らかにし、今後の診療のさらなる改善に努めます。

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「氏名、カルテ ID、住所を削除した情報（どの研究対象者の情

報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として統計学的手法により解析します。

研究の期間

2026年3月16日～2027年3月まで

研究組織

この研究は島根大学医学部泌尿器科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部泌尿器科学講座 和田耕一郎

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。なお、利用停止については、2026年9月30日までに申し出ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部泌尿器科学講座 和田耕一郎

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2256 FAX 0853-20-2250